

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月 19 日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 山鹿市バイオマスセンター
	【事業主体】 山鹿市（旧鹿本町）
	【所在地】 熊本県山鹿市鹿本町
	【運転開始年】 平成 17 年
原材料	生ごみ、家畜排せつ物、集落排水汚泥
生産物（種類）	電力、堆肥、液肥
利用方法	堆肥、液肥は販売。 電力は施設内利用。
導入目的・経緯	基幹産業である農業を核とした物質（資源）の循環を基本に、環境に負荷を与えない持続的に発展可能な生産システムやライフスタイルを形成する“環の地域づくり”に真剣に取り組む。
設備仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス受入施設 ・生ゴミ分別機 ・メタン発酵装置(1,400m³) ・バイオガス貯留設備(300 m³) ・コージェネレーションシステム(100kw×2 基) ・消化液貯留施設(4,275m³×2 基) ・堆肥製造施設(A=5,340 m²) ・脱臭設備(生物脱臭 + 科学脱臭)
稼働状況	畜産系廃棄物 約 74t/日 一般廃棄物(生ゴミ) 約 3t/日 集落排水処理汚泥 約 2t/日
経済性関連データ	初期投資額：約 10.3 億円（国庫補助：50%、県補助：10%、残り自己負担）
導入効果	廃棄物資源の有効利用により、農業生産者及び地域住民間の生産・消費活動を通じた地域資源の循環システムができた。
運営上の課題	特になし
備考	